

大阪エコバッグ運動

プラスチックは、安価で使いやすいことから、急激に普及して、私たちの生活を便利にしてくれた一方、不用意にごみとして捨てられたプラスチックなどが、河川などを通じて海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えているなど、近年、地球規模で大きな問題となっています。

大阪市と大阪府は、2019年「G20大阪サミット」及び「2025年大阪・関西万博」の開催地として、プラスチックごみゼロに向け、使い捨てプラスチック削減のさらなる推進を行うことなどを盛り込んだ「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行いました。

大阪市では「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の取組のひとつとして、急な買物時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する「大阪エコバッグ運動」を推進しています。

また、令和2年7月から、レジ袋が全国で有料化されました。これをきっかけに、出かける時はエコバッグを常に携帯し、お店でレジ袋をもらわないようにして「限りある天然資源の消費抑制」、「地球温暖化防止」、「海洋プラスチックごみ削減」など、プラスチックごみによる環境問題の解決にご協力をお願いします。



廃棄物減量等推進員の皆さんにしてほしいこと

お出掛けする際は、率先して、常にエコバッグを携帯するよう努めてください。また、レジ袋を含むプラスチック問題について、地域の皆さんと話し合い、プラスチックごみ削減に向けて取り組んでください。